

令和7年度事業計画

はじめに

国内外の観光を取り巻く状況は、訪日外国人旅行者や国内からの旅行者がコロナ前の水準を超えつつあるが、これはゴールデンルートと呼ばれる大都市に多くみられ、地方は一定の水準で推移している。そのため、7年度もインバウンドを含めさらなる誘客を強化する必要がある。

丸亀城、丸亀城エクスペリエンスをはじめ丸亀うちわ、中津万象園、塩飽諸島などの歴史・文化・景観、讃岐うどん、骨付鳥の食など地域の特性や魅力を積極的に発信する。

さらに、令和6年度から8年度まで受託している史跡丸亀城跡城内施設（天守、大手門、延寿閣別館）の指定管理業務の中で、3施設連携のイベント等を充実し誘客に努める。また、昨年7月から開始した丸亀城キャスルエクスペリエンスへの誘客を図るため、国内外へのプロモーションに取り組む。

丸亀市からの出向職員は1人となる予定だが、新たに職員採用を行い行政との連携はもとより各種事務事業などの引継ぎを確実に行う。また、職員研修を推進し、職員のスキルアップを図るなど、基本的な組織力の向上に努める。

今後、観光を推進する上での重要な指標である持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）地域づくりについて、丸亀うちわを軸に事業を実施する。

【行動指針】

『丸亀市に人を呼ぶため、何ができるかを常に考え実行し、来られたお客様の滞在時間を延ばすことで市内の飲食店、宿泊施設等の売上向上につなげ、地域が潤う持続可能な観光地域づくりを目指す』

1 調査/プロモーションに関する取組

(1) 継続的なデータ収集事業

- ・年4回（季節ごとに100サンプル）観光客動向調査を丸亀城内観光案内所において行う。
- ・観光客動向調査において、広域連携DMOと連携し、外国人観光客動向調査を実施する。
- ・観光協会ホームページのアクセス解析を行うとともに、RESAS、四国ツーリズム創造機構等のDMPを活用して観光客の動向等を把握する。

(2) 世界の持続可能な観光地TOP100選出受入態勢・環境づくり事業

市が申請予定の「世界の持続可能な観光地TOP100」および「グリーン・ディステイネーションズ・アワード」について、協力・支援を行っていく。

また、当協会においても、「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」ロゴマークの取得に向け、申請を行っていく。

(3) 観光情報発信戦略事業

現在市内で配布されている観光関連マップを精査し、利用者が使いやすく、わかりやすいマップを企画・提供できるように戦略的な方向性を定め、必要なマップ等を作成していく。

(4) 観光コンテンツとしてのボートレースまるがめのPR（連携事業）

市の公共施設でもあるボートレースまるがめと連携し、各種PR事業等を実施する。

① 情報発信事業

- ・観光案内所においてボートレースまるがめのPR
- ・観光協会ホームページやSNSでのボートレースまるがめのPR

② 30 km圏内誘客事業

- ・ボートレースまるがめ本場内を中心とした誘客イベント等の実施
- ・観光体験を取り入れたモニターツアーの実施

③ 観光客誘客事業

- ・市内ホテルへのボートレースまるがめPR
(入場無料クーポン、フードコート金券の配布、チラシの客室設置、金券の精算事務)

(5) 丸亀市滞在型観光誘致促進事業

旅行会社向け修学旅行助成を充実し、継続的な修学旅行の誘致を図る。修学旅行の誘客については、民間事業者と連携し、修学旅行情報を整理し、学校、旅行会社へのプロモーションや教育キットを配布する。

① 丸亀市コンベンション支援事業

② 丸亀市団体旅行等誘致促進事業

③ 丸亀市合宿等誘致事業

④ 丸亀市修学旅行等誘致事業

(6) 県と連携したインバウンド事業

台湾、香港、タイなどをターゲット国とした商談会に参加するなど、様々なプロモーションを図る。

(7) 交流都市等での物産展への参加

丸亀の観光と物産展等の出向宣伝

- ・石川県七尾市 ・福井県小浜市 ・北海道京極町 ・秋田県由利本荘市
- ・愛媛県東温市 ・東京都新橋（香川・愛媛せとうち旬彩館）

(8) 丸亀市観光親善大使活動

観光丸亀のイメージアップに努めるため、丸亀市観光親善大使2名をイベントや物産展、丸亀城関連イベントなどに積極的に起用し、丸亀市の観光PR事業に取り組む。

(9) 周辺市町や観光施設との連携 PR

- ① 四国水族館との連携による周遊型観光の PR（修学旅行）
- ② 瀬戸内国際芸術祭や大阪関西万国博覧会の開催に合わせ、広域観光協議会（中讃 3 市 5 町、民間）の一員として、共通パンフレットの作製や広域観光キャンペーン（さぬきのまんなか観光博覧会）へ参加する。
- ③ フィルムコミッション事業

(10) ホームページ・SNS 等情報発信の充実

- ① 観光協会ホームページの更新 賛助会員店舗やイベントなどに関するきめ細かい情報の更新、発信に努める。
- ② 会員へのメール配信の充実
- ③ SNS 等での情報発信強化
 - ・ 情報発信は各事業担当が個々で積極的に実施する（X、Facebook、Instagram）
 - ・ デジタルマーケティングの検討（グーグルビジネスプロフィールなど）
 - ・ デジタルサイネージの導入の検討

2 着地型観光事業に関する取組

(1) 災害や感染への対策強化

大規模地震や風水害などの非常時における観光客への対応（ハザードマップ、マニュアルの研修・理解、非常用設備の整備、避難誘導、防火訓練等）を強める。

(2) 史跡丸亀城跡城内施設（天守、大手門、延寿閣別館）指定管理事業

丸亀市の観光になくてはならない史跡丸亀城の中核施設である天守、大手一の門（いずれも重要文化財）、延寿閣別館において、観光関連事業を展開し、文化財的価値を高め、観光客と地域住民が交流しお互いが楽しみ、感動と共感が得られる持続可能な観光地域づくりのアイコン（象徴）として管理運営し、滞在客を増加させていくことを目的に、観光庁登録 DMO として指定管理に取り組む。

国指定文化財の価値を守り、高めるため、管理運営面では文化財の保存と良好な継承に留意する。事業面については活用を図り各種事業を発展、実施する。また、業務運営及び施設の維持管理についても常に新たな発想による改善改良を重ねながら、より効率的で効果的な取組みを目指す。

- ① 天守、大手一ノ門
 - 観覧の受付事務、収納、関連商品の販売、清掃保守、避難誘導
- ② 延寿閣別館
 - ・ 城泊の実施

城泊ホームページの公開、動画によるプロモーションなどに取り組み、宿泊を委託

する事業者と連携し、宿泊者の確保及び円滑な施設管理・運営に努める。

また、インバウンド向けの観光ポータルサイトに掲載するなど PR 活動を実施する。

また、DMO リーディングプロジェクトとして丸亀城延寿閣別館城泊を位置づけ、中津万象園など広く関係者の意見・協力などに基づいた事業とする。

・一般公開、イベントに関する運営管理の実施

③ 誘客イベント等の実施

- ・お茶会や城フェスタ等、丸亀城の歴史・文化に因んだイベントや参加型イベントの企画・実施を行う。
- ・丸亀城キャッスルロード期間中の土日祝夜間天守を開放し、関連イベント（大手門ライブ、夜のお城歩き、住みます芸人ライブ、飲食ブース等）を実施する。
- ・「特別版お城 Expo」（R7 開催地：松江城）や国内外で開催される商談会等に参加し、新規利用者の増加を図る。

（3）体験プログラムの充実

各種体験型観光などのメニューを提供する事業者が負担する OTA 等への掲載手数料を支援する助成制度を継続する。観光協会ホームページや SNS で発信するとともに、体験型観光を実施している会員等を紹介するチラシを作成し配布する。

旅行業を活用し、手配等に伴う手数料等の徴収について検討する。具体的には、人力車、うちわ作り、和菓子作り、陶芸、お抹茶のお点前など

- ① 体験プログラムリストの作成・管理・更新
- ② ホームページ、SNS による体験プログラムの PR
- ③ 体験プログラムの問い合わせに対する仲介

（4）朝観光、夜観光の充実

① 丸亀城イルミネーション事業

丸亀城キャッスルロードや石垣ライトアップ、桜まつり期間中の桜の海（二の丸）ライトアップなどによるイルミネーション事業に取り組む。キャッスルロードは市制施行 20 周年記念冠事業として、内容を拡充して実施する。

② 飯野山観光事業（坂出市との連携）

4 月 22 日を「讃岐富士の日」と定め、里山祭りを開催、関西のエージェントを中心とした営業を行うことを検討するとともに、駅等でのパネル展やポスター掲示等にも取り組む。

（5）多言語などインバウンド対応の充実

① インバウンド向け環境整備の調査研究

インバウンド向けに、塩飽諸島や中心市街地をめぐりやすくするための環境（多言語看板等）について調査研究を行い、必要に応じて国の事業を活用する。

② 外国語に精通した人材育成・確保（通訳案内士への研修、登録と活用）

- ③ 多言語観光マップ等のあり方について、DMO プロジェクトチームと検討を進める。
- ④ 飲食店への多言語メニュー作成支援及びハラール・ベジタリアンフードに関する情報提供を検討していく。

(6) スポーツツーリズム推進事業

県立丸亀競技場や丸亀市民球場など総合運動公園をホームグラウンドとしたプロスポーツ観戦者に、宿泊施設や観光スポット・食事処で利用できる“おもてなし割クーポン”の配布・城内ショップでのサポーター割などを行い、丸亀での観光消費促進につなげる。

- ① カマタマーレ讃岐、香川オリーブガイナズ、香川ファイブアローズの応援
- ② 香川丸亀国際ハーフマラソン大会にぎやか村管理運営業務

(7) まち歩き事業の企画・実施

- ① 島しょ部、南部山麓エリアのまちあるき、体験型まち歩き、丸亀城ヨルサンポの主催
- ② まち歩きファンへ各種情報提供及び情報発信の依頼

(8) 歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進

観光庁の直轄事業である「歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業」に応募し、城泊をきっかけとした観光まちづくりについて調査研究を行う。

(9) 日本遺産の活用

丸亀市離島振興室と連携し、本島、広島などで日本遺産を活用した体験プログラムの開発や島泊等に協力する。昨年度に引き続き、丸亀市離島振興室が実施する「日本遺産本島・広島滞在型観光誘致促進事業」の宿泊助成金の事務局として、事業のPR・助成金の精算業務等を行う。

3 イベントに関する取組

(1) 丸亀城関連イベント

各種観光物産イベントを主催、協賛する。

- ① 第76回丸亀お城まつりの開催（事務局） 5月3日、4日
丸亀観光の最大のまつり。丸亀城内外でパレードや踊り、トークショー、露店など20万人程度の人出を予想
- ② おもてなしイベント

4月	丸亀城桜まつり 春のライトアップ
5月	丸亀お城まつり
6月	時の記念日
9月	ナイトフェスタ 丸亀城キャスルロード～1月（案）
10月	丸亀こどもデー（キッズウィーク） 丸亀城菊花展開催（～11月、事務局）

12月	丸亀城正月事始め
1月	新春おもてなし 新春フェスタ

③ 丸亀城おもてなし事業

- ・人力車の運行 丸亀城お笑い人力車芸人が丸亀城にて人力車を運行する。丸亀駅への運行を行う。(片道のみ)
- ・「京極くん」「うちっ娘」の活用
- ・よみがえる丸亀城～丸亀歴史体感アプリ～への協力
- ・乃木若葉は勇者であるとの連携

(3) 市民団体等が主催する各種イベントの情報発信強化及び支援

市民団体等が主催する各種イベントを情報収集し、ホームページ、SNS、メーリングリストなどで発信する。

(4) その他のイベント

- ① まるがめ文化芸術祭事業の共催 (9月～11月)
- ② 桃喰うまつり (7月、協賛)・あやうたふるさとまつり (11月、協賛)
- ③ 丸亀さつき愛好会への補助

4 食と土産品の開発に関する取組

(1) オリジナル商品開発 (市内事業者への発注) と販売

物産販売やオリジナル商品 (定番商品) の開発及び販路拡大 (通販) に取り組む。

(2) 丸亀名物骨付鳥や桃、丸亀うちわなど地場産品 (丸亀ブランド) の PR

従来より PR してきた地場産品に加え、昨年度よりスタートした「丸亀セレクション」も含めて各種物産展などで PR を行う。

(3) オリジナル料理の開発支援と PR

チャコリと合わせて楽しめる、新たな観光資源としての丸亀市オリジナル「ピンチョス」の開発等を支援する。

(4) 丸亀ブランドの認定

丸亀市が「丸亀セレクション」として認定する地域の商品の広報を行う。

(5) 瀬戸内国際芸術祭 2025 における臨時観光案内所運営等

瀬戸芸 (秋会期) 期間中、瀬戸内国際芸術祭丸亀実行委員会と協力し以下の業務を担当する。

- ① 丸亀港・本島港での臨時観光案内所の運営
- ② 丸亀ならではの食とアートをテーマにしたお土産の販売（令和6年度より開発）
- ③ 島嶼部のみならず、陸地部での回遊を目的とした助成金事業の事務局運営

（6）大学生による調査研究への協力

立命館大学食マネジメント学部の演習授業「ガストロノミック・スタディ・プロジェクト」のフィールドワーク先として市とともに受入れを行い、食を通じた丸亀市の魅力発信に協力していく。

5 案内・レンタサイクルに関する取組

（1）JR丸亀駅構内観光案内所、丸亀城内観光案内所の運営

多様化する観光ニーズに対応した情報を提供し観光客の利便性の向上を図る。

- ① 観光案内所における観光情報サービスの強化（デジタルサイネージ設置の検討）
- ② 瀬戸内中讃定住自立圏2市3町のパンフレットの設置
- ③ 塩飽諸島の観光情報提供の強化
- ④ うどん県公式パスポートの入県・出県審査の受付及びスタンプラリーの協力
- ⑤ マンホールカード配布の協力
- ⑥ 丸亀城12姫、乃木若葉、ポケモン（ヤドン自販機）の関連商品の販売

（2）レンタサイクル事業の充実による周遊性の確保

- ① キャンペーン等の実施による利用促進
- ② 貸出時間の延長（カマタマーレ讃岐ホームゲーム等への協力）
- ③ 令和8年度からの料金値上げを目指し、検討を行う

6 関係者の交流や連携事業の具体化に関する取組

（1）丸亀版DMO懇談会の運営

観光各分野をはじめ地域づくりに関心のある事業者・市民等の懇談会を年3回程度開催し、情報交換・相互交流の機会を提供する。また、懇談会メンバーの中で適宜リーディングプロジェクトチームを組成し、連携して取り組む事業の実現化を図る。

（2）幹事会の運営

幹事会を年2回程度開催し、DMO形成・確立計画の進捗管理に取り組む。また、幹事会は、計画に基づく事業の具体化を先導する役割を担い、各幹事が関わるリーディングプロジェクト事業の推進についても役割を明確にする。

7 その他の取組

(1) 施設整備及び美化清掃事業

観光丸亀のイメージアップ並びに本市の主要観光地への観光客誘致のため、施設の管理運営委託、美化清掃事業や案内看板等の設置。また、海水浴場などの安全確保事業等を行う。

- ① 本島・広島海水浴場及び遊歩道の清掃・観光案内板・標識の整備等
- ② 広島江の浦、本島泊・屋釜3海水浴場の安全確保事業
- ③ 本島パークセンタ管理運営委託

(2) 丸亀歳時記事業

丸亀駅構内や丸亀城において、季節ごとに丸亀の伝統文化を伝えるディスプレイ等を実施する。

(3) 賛助会員

賛助会員には、協会が発行するマップへの店舗掲載、ホームページに情報掲載、案内所に宣伝物設置、城内お土産ショップへの商品取扱い、協会が主催するイベントへの出展、情報提供などこれまで以上のメリットを提供する。

(4) 組織力の向上

市からの派遣職員より丸亀お城まつりをはじめとする事業等のノウハウを引き継ぐとともに、市との連携をより密にしながら、観光施策のビジョンの共有や様々な職員研修の推進を図るなど、地域 DMO としての組織力の向上に努める。